

いじめの疑いのある情報

教師の目撃 本人からの訴え 保護者からの訴え
児童生徒等からの情報 アンケート など

さ 最悪を想定して
し 慎重に
す 素早く
せ 誠意をもって
そ 組織的に対応する

複数の職員へ
報告・相談

情報をつかんだ職員
学級担任（連携）

校長 教頭

いじめ対策チームの組織
関係職員を招集
組織的対応（流れ、役割等）

校長・教頭まで
各自報告

いじめ対策監
生徒指導主事

直ちに報告（報告様式&電話）

いじめ対策監支援本部報告

情報元の生徒等
から聞き取り

被害者が所属する集団の
リーダー等から聞き取り

最優先で対応

- ・複数人（いじめ対策監・教頭・校長を含む）のチームでの聞き取り
- ・人手不足の場合、別室待機（職員配置）
- ・事実特定できるまでは、聴取することに徹する

共感的な聞き取り
（辛さや不安に寄り添う）

情報集約・事実認定

校長 教頭

被害者から
聞き取り

加害者から
聞き取り

第一報 支援本部 関係機関
家庭連絡 I

事実確認

すり合わせをしながら
何度も

事実確認・全容把握

校長 教頭

事実関係の概ね一致
関係職員の招集・方向確認

被害者への支援等

加害者への指導

個別の加害状況に応じて指導内容は変わるが、意識に迫る指導をする。（「行為」のみで終えない）

心に寄り添う
声かけ

校長 教頭

生き方に
関わる指導

思いを伝え合う場の設定

学級担任が各家庭へ連絡

保護者の困り感
に寄り添う言葉

学校管理下での
事案について謝罪 含

校長 教頭

加害者保護者へ

下校時刻までに指導が終わらない場合は学担任（教頭）が家庭へ必ず連絡を入れる

指導

被害者保護者へ

加害者保護者へ

電話で概要説明
家庭訪問で指導の経緯
今後の指導方針

電話で概要説明・来校依頼
学校で指導の経緯
今後の指導方針

発覚した日のうちに
ここまでの指導を始める

見届け

保護者同士の会の設定（学校立会い） 支援本部「収束」報告・関係機関との連携

継続的、組織的支援

継続的、組織的支援

- ・本人への聞き取り
- ・周りの子どもへの聞き取り
- ・保護者への情報提供と聞き取り
- ・スクールカウンセラーの活用

校長、担任、いじめ対策監、生徒指導主事等による繰り返し見届

記録用紙への記入（担任・生指・対策監）→回覧→金庫保管（5年間引継ぎ）